

政策 15 「高度な産業技術の普及推進」

政策 15 「高度な産業技術の普及推進」は、各種試験研究機関における研究成果や調査・収集した技術情報等について、地域に密着した普及活動を効果的に展開し、高度な産業技術を地域産業へすみやかに移転することを目指す様々な施策で構成されている。

1. 政策 15 の認知度

1 1 一般県民

一般県民全体における高認知度群は 14.8%、低認知度群は 85.2%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高認知度群の割合は、性別では、男性（18.8%）が女性（10.7%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（22.7%）が 65 歳未満（11.8%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高認知度群の割合は、

大崎圏域（21.2%）では、回答者全体と比較して 6.4 ポイント高い。

石巻圏域（8.4%）では、回答者全体と比較して 6.4 ポイント低い。

(%)

政策 15 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった		
一般県民全体	0.9	13.9	14.8	59.6	25.6	85.2	100.0

性別	男性	1.3	17.5	18.8	59.6	21.5	81.1	100.0
	女性	0.5	10.2	10.7	59.6	29.7	89.3	100.0
年齢別	65 歳未満	0.9	10.9	11.8	60.1	28.0	88.1	100.0
	65 歳以上	0.8	21.9	22.7	57.9	19.4	77.3	100.0

圏域別	仙台	0.5	14.7	15.2	55.9	28.9	84.8	100.0
	仙南	1.3	11.6	12.9	58.7	28.4	87.1	100.0
	大崎	0.9	20.3	21.2	55.9	22.9	78.8	100.0
	栗原	1.2	16.1	17.3	57.9	24.8	82.7	100.0
	登米	0.5	15.6	16.1	61.5	22.4	83.9	100.0
	石巻	1.1	7.3	8.4	61.6	29.9	91.5	100.0
	気山沼・本吉	0.9	9.5	10.4	65.9	23.7	89.6	100.0

有効回答者数 1,571 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高認知度群は 20.4%、低認知度群は 79.7%である。

市町村職員の圏域別での高認知度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(50.0%)では 29.6 ポイント、栗原圏域(42.9%)では 22.5 ポイント高い。

仙南圏域(14.3%)では、回答者全体と比較して 6.1 ポイント低い。

学識等全体における高認知度群は 47.7%、低認知度群は 52.3%である。

(%)

政策 15 認知度	高認知度群		小計	低認知度群		小計	計	
	知っていた	ある程度知っていた		あまり知らなかった	知らなかった			
市町村職員全体	1.8	18.6	20.4	64.1	15.6	79.7	100.0	
圏 域 別	仙台	1.7	18.1	19.8	62.9	17.2	80.1	100.0
	仙南	1.8	12.5	14.3	64.3	21.4	85.7	100.0
	大崎	2.6	15.6	18.2	64.9	16.9	81.8	100.0
	栗原	0.0	42.9	42.9	57.1	0.0	57.1	100.0
	登米	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	50.0	100.0
	石巻	4.3	13.0	17.3	60.9	21.7	82.6	100.0
	気山沼・本吉	0.0	21.1	21.1	73.7	5.3	79.0	100.0

有効回答者数 334 名

学識者等全体	7.7	40.0	47.7	50.8	1.5	52.3	100.0
--------	-----	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 65 名

2. 政策 15 の関心度

1 1 一般県民

一般県民全体における高関心度群は 50.5%、低関心度群は 49.6%である。

一般県民における、性別、65 歳年齢区分別での高関心度群の割合は、

性別では、男性（58.6%）が女性（42.6%）よりも高い。

65 歳年齢区分別では、65 歳以上（61.3%）が 65 歳未満（46.4%）よりも高い。

一般県民の圏域別での高関心度群の割合は、

栗原圏域（58.9%）では、回答者全体と比較して 8.4 ポイント高い。

石巻圏域（37.4%）では、回答者全体と比較して 13.1 ポイント低い。

(%)

政策 15 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった		
一般県民全体	10.7	39.8	50.5	39.2	10.4	49.6	100.0

性別	男性	13.6	45.0	58.6	32.4	9.0	41.4	100.0
	女性	7.7	34.9	42.6	45.7	11.7	57.4	100.0
年齢別	65 歳未満	8.1	38.3	46.4	42.5	11.1	53.6	100.0
	65 歳以上	17.5	43.8	61.3	30.3	8.4	38.7	100.0

圏域別	仙台	9.8	42.8	52.6	40.0	7.4	47.4	100.0
	仙南	12.2	36.7	48.9	39.7	11.4	51.1	100.0
	大崎	11.2	34.9	46.1	45.3	8.6	53.9	100.0
	栗原	13.1	45.8	58.9	31.9	9.2	41.1	100.0
	登米	10.3	42.5	52.8	37.4	9.8	47.2	100.0
	石巻	5.0	32.4	37.4	45.3	17.3	62.6	100.0
	気山沼・本吉	10.5	40.2	50.7	38.9	10.5	49.4	100.0

有効回答者数 1,610 名

1 2 市町村職員・学識者等

市町村職員全体における高関心度群は 48.4%、低関心度群は 51.7%である。

市町村職員の圏域別での高関心度群の割合は、

回答者全体と比較して、登米圏域(83.4%)では 35.0 ポイント、栗原圏域(71.4%)では 23.0 ポイント高い。

仙台圏域(41.9%)では、回答者全体と比較して 6.5 ポイント低い。

学識等全体における高関心度群は 81.8%、低関心度群は 18.2%である。

(%)

政策 15 関心度	高関心度群		小計	低関心度群		小計	計	
	関心があった	ある程度関心があった		あまり関心 がなかった	関心が なかった			
市町村職員全体	5.1	43.3	48.4	46.6	5.1	51.7	100.0	
圏 域 別	仙台	4.3	37.6	41.9	53.0	5.1	58.1	100.0
	仙南	5.4	46.4	51.8	44.6	3.6	48.2	100.0
	大崎	3.9	42.9	46.8	45.5	7.8	53.3	100.0
	栗原	14.3	57.1	71.4	28.6	0.0	28.6	100.0
	登米	16.7	66.7	83.4	16.7	0.0	16.7	100.0
	石巻	8.7	39.1	47.8	43.5	8.7	52.2	100.0
	気山沼・本吉	2.6	50.0	52.6	44.7	2.6	47.3	100.0

有効回答者数 335 名

学識者等全体	30.3	51.5	81.8	16.7	1.5	18.2	100.0
--------	------	------	------	------	-----	------	-------

有効回答者数 66 名

3. 政策 15 の重視度・満足度

3-1 回答者全体

一般県民の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 70.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 20.0 点で、かい離度は「大」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 38.9%と推定できる。

市町村職員の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 65.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 50.0 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 15.0 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 32.6%と推定できる。

学識者等の、回答者全体での重視度・満足度は以下の通りである。
重視度の中央値は 75.0 点で、県民は「ある程度重要である」と考えていることが分かる。
満足度の中央値は 57.5 点で、県民は「やや不満である」と考えていることが分かる。
重視度と満足度の中央値の差は 17.5 点で、かい離度は「中」である。
重視度と満足度の回答者全体の分布の形は、分布関数より、「中央値は異なるがほぼ同型である」といえる。
「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より 39.1%と推定できる。

【一般県民】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	70.0	50.0	20.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	55.0	40.0	15.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	80.0	60.0	20.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	25.5	(74.5)
満足度 60点未満の割合		64.4
要検討領域にある回答者全体の割合		38.9

有効回答者数；重視度 1,579人、満足度 1,559人

(一般県民)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	1579	1559
	欠損値	142	162
平均値		66.11	48.68
平均値の標準誤差		.456	.438
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.121	17.290
分散		328.383	298.927
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

【市町村職員】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	65.0	50.0	15.0
第1四分位数(25パーセンタイル)	60.0	50.0	10.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	75.0	60.0	15.0

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	23.1	(76.9)
満足度 60点未満の割合		55.7
要検討領域にある回答者全体の割合		32.6

有効回答者数；重視度 334人、満足度 332人

(市町村)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	334	332
	欠損値	4	6
平均値		65.04	52.32
平均値の標準誤差		.848	.782
中央値		65.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		15.492	14.255
分散		240.013	203.215
範囲		95	90
最小値		5	0
最大値		100	90
パーセンタイル	25	60.00	50.00
	40	60.00	50.00
	50	65.00	50.00
	60	70.00	60.00
	75	75.00	60.00

【学識者等】

中央値、第1四分位数、第3四分位数の値(点)

	重視度	満足度	かい離
中央値	75.0	57.5	17.5
第1四分位数(25パーセンタイル)	65.0	50.0	15.0
第3四分位数(75パーセンタイル)	83.8	65.0	18.8

要検討領域にある回答者全体の割合(推定)(%)

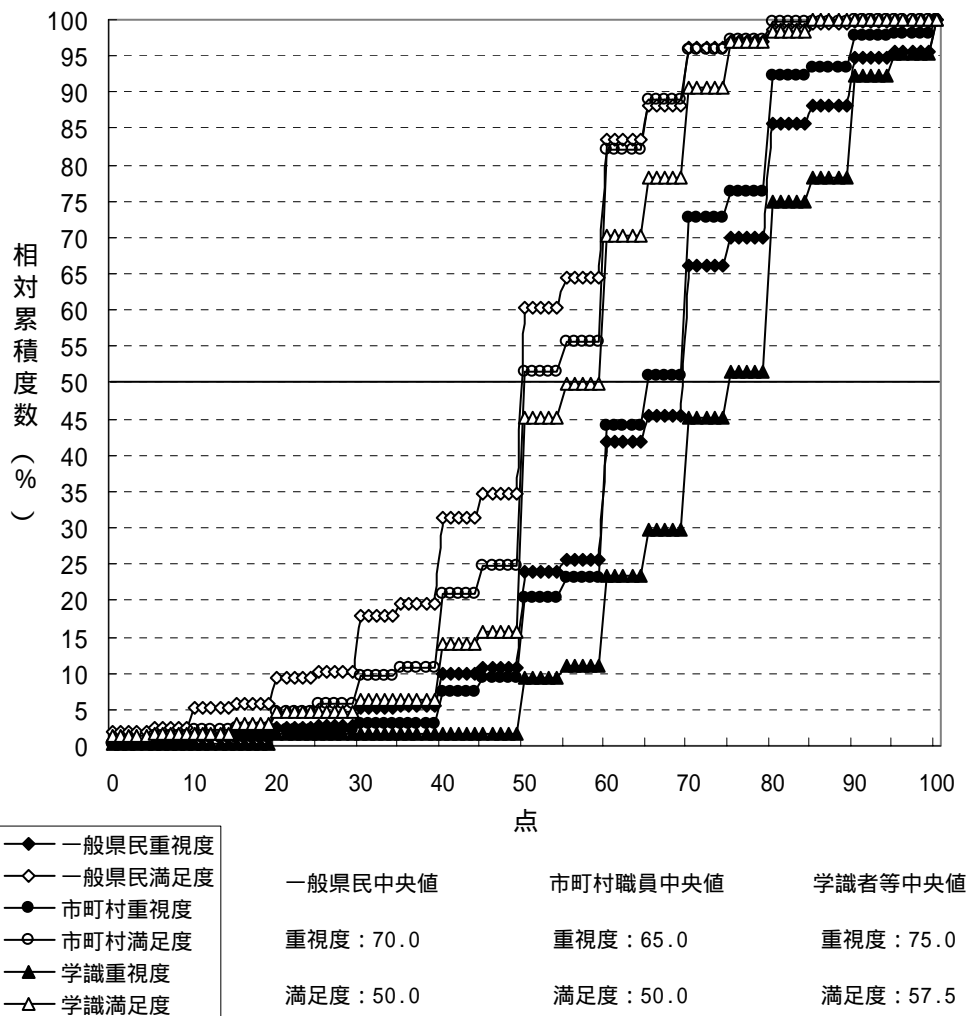
	回答者全体	
重視度 60点未満の割合(60点以上の割合)	10.9	(89.1)
満足度 60点未満の割合		50.0
要検討領域にある回答者全体の割合		39.1

有効回答者数；重視度 64人、満足度 64人

(学識者等)回答者全体の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	64	64
	欠損値	5	5
平均値		73.98	55.63
平均値の標準誤差		1.877	1.821
中央値		75.00	57.50
最頻値		80	50
標準偏差		15.018	14.571
分散		225.539	212.302
範囲		80	80
最小値		20	5
最大値		100	85
パーセンタイル	25	65.00	50.00
	40	70.00	50.00
	50	75.00	57.50
	60	80.00	60.00
	75	83.75	65.00

「政策15 高度な産業技術の普及推進」



3 2 性別・年齢区分別（一般県民）

一般県民における、性別、65歳年齢区分別における重視度・満足度は以下の通りである。

3 2 - 1 性別

重視度の中央値は、男性女性ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、男性女性ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、男性女性ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、男性（15.0 点）が女性（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、男性女性共に 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、男性 40.9%、女性 37.3%と推定できる。

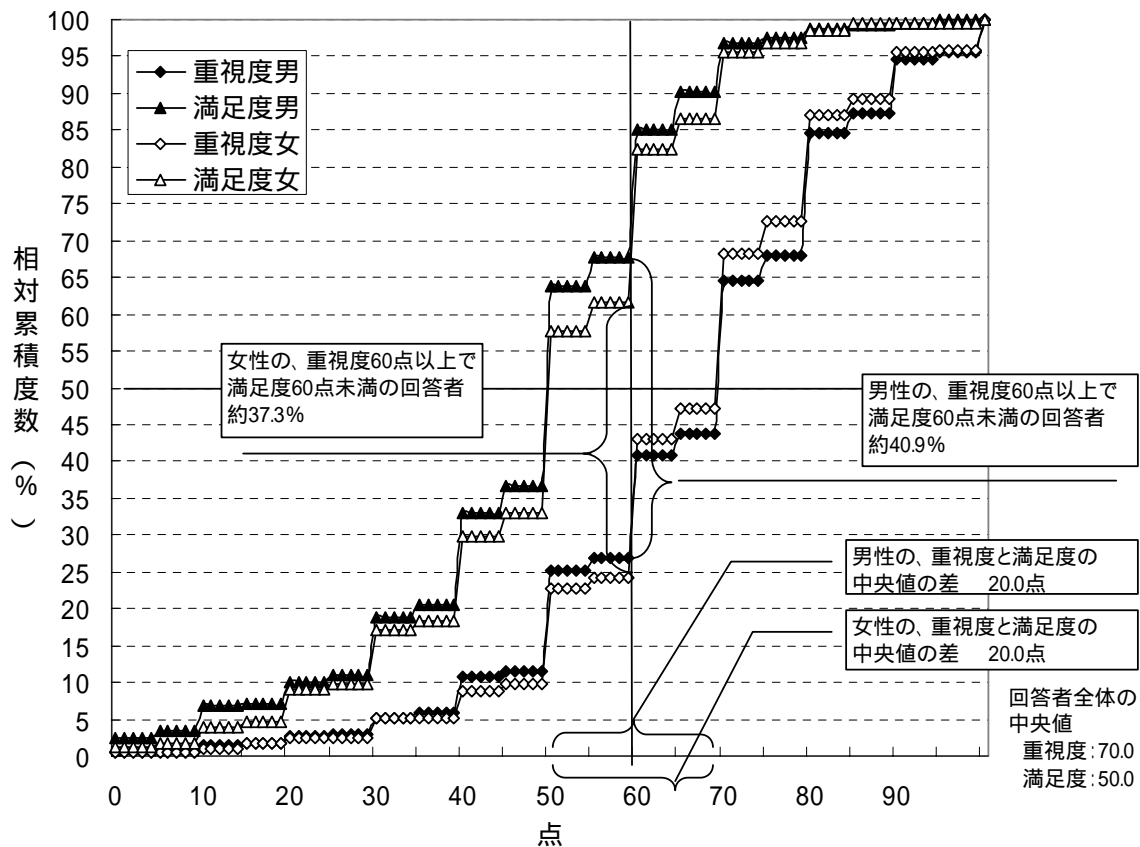
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	男性	女性
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	55.0	50.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	15.0	10.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数 - 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	15.0	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）（%）

	男性	女性
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	26.8 (73.2)	24.2 (75.8)
満足度 60 点未満の割合	67.7	61.5
要検討領域にある回答者全体の割合	40.9	37.3

(一般県民)男性と女性の重視度と満足度



(一般県民)男性の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	760	752
	欠損値	43	51
平均値		66.29	47.59
平均値の標準誤差		.675	.638
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.604	17.496
分散		346.095	306.118
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	50.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

(一般県民)女性の重視度・満足度基本統計量

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	802	792
	欠損値	94	104
平均値		65.83	49.69
平均値の標準誤差		.620	.606
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.561	17.043
分散		308.394	290.454
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	55.00
	75	80.00	60.00

3 2 - 2 65 歳年齢区分別

重視度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 70.0 点で同じである。

満足度の中央値は、65 歳未満、65 歳以上ともに 50.0 点で同じである。

重視度と満足度の中央値の差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 20.0 点で同じである。

重視度の四分位偏差は、65 歳未満（12.5 点）が 65 歳以上（10.0 点）よりも大きい。

満足度の四分位偏差は、65 歳未満、65 歳以上ともに 10.0 点で同じである。

「ある程度重要と認めつつ現状にあまり満足していない」要検討領域の回答者全体の割合は、分布関数より、65 歳未満 39.4%、65 歳以上 37.7%と推定できる。

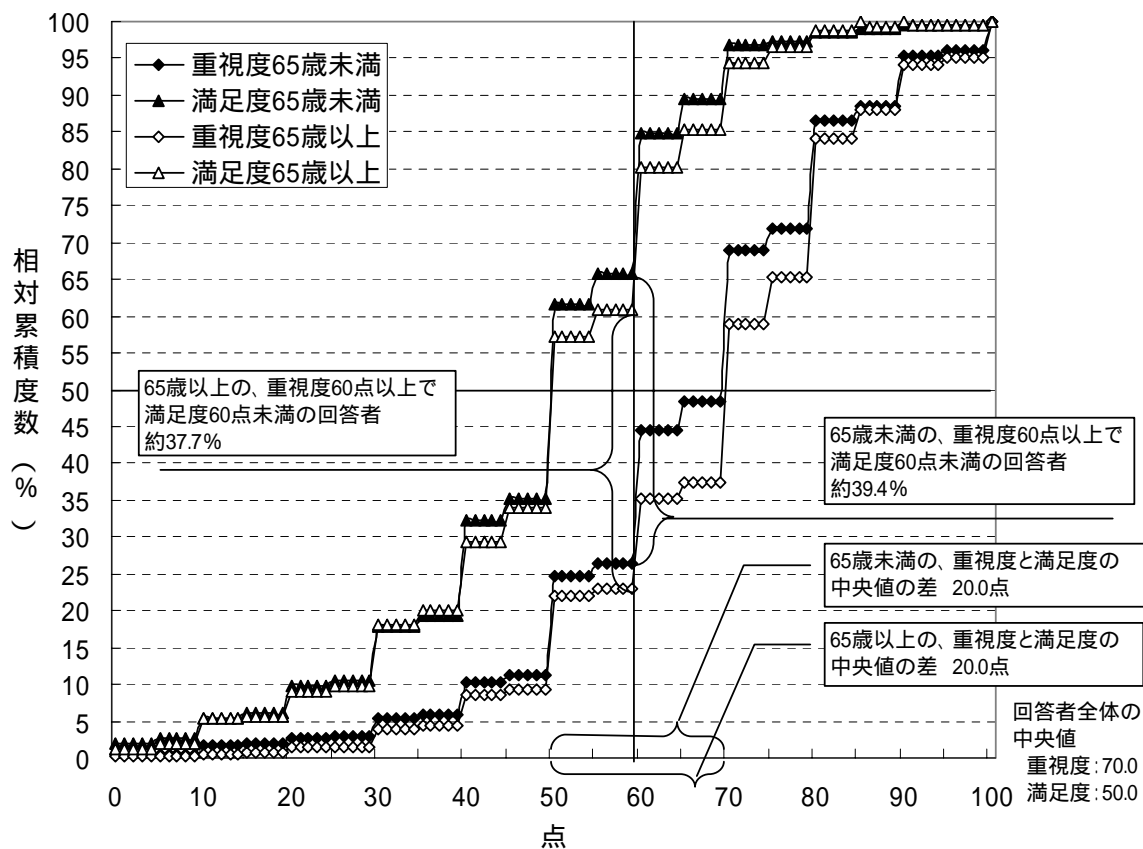
中央値、第 1 四分位数、第 3 四分位数、四分位偏差の値（点）

		回答者全体	65 歳未満	65 歳以上
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
第 1 四分位数 (25パーセントイル)	重視度	55.0	55.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0
	かい離	15.0	15.0	20.0
第 3 四分位数 (75パーセントイル)	重視度	80.0	80.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0
四分位偏差 (第 3 四分位数- 第 1 四分位数) / 2	重視度	12.5	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0

要検討領域にある回答者全体の割合（推定）(%)

	65 歳未満	65 歳以上
重視度 60 点未満の割合(60 点以上の割合)	26.4 (73.6)	23.1 (76.9)
満足度 60 点未満の割合	65.8	60.8
要検討領域にある回答者全体の割合	39.4	37.7

(一般県民) 65歳未満と65歳以上の重視度と満足度



		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	1161	1147
	欠損値	79	93
平均値		65.27	48.33
平均値の標準誤差		.536	.509
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		18.259	17.240
分散		333.396	297.232
範囲		100	100
最小値		0	0
最大値		100	100
パーセンタイル	25	55.00	40.00
	40	60.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	70.00	50.00
	75	80.00	60.00

		政策15重視度	政策15満足度
度数	有効	399	395
	欠損値	58	62
平均値		68.28	49.61
平均値の標準誤差		.870	.879
中央値		70.00	50.00
最頻値		70	50
標準偏差		17.375	17.460
分散		301.882	304.858
範囲		100	85
最小値		0	0
最大値		100	85
パーセンタイル	25	60.00	40.00
	40	70.00	50.00
	50	70.00	50.00
	60	75.00	55.00
	75	80.00	60.00

3 3 圏域別 (一般県民、市町村職員)

一般県民の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、大崎圏域(65.0点)が回答者全体(70.0点)よりも5ポイント低い。

満足度の中央値は、回答者全体(50.0点)と5ポイント以上差のある圏域はない。

重視度の四分位偏差は、仙南圏域(15.0点)、登米圏域(15.0点)の2圏域が回答者全体(12.5点)よりも大きく、仙台圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、気仙沼・本吉圏域(10.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、すべての圏域が10.0点で同じである。

市町村職員の、圏域別における重視度・満足度は以下の通りである。

重視度の中央値は、仙南圏域(70.0点)、大崎圏域(70.0点)、栗原圏域(70.0点)、登米圏域(70.0点)、気仙沼・本吉圏域(70.0点)の5圏域が回答者全体(65.0点)よりも高く、石巻圏域(60.0点)が5ポイント低い。

満足度の中央値は、栗原圏域(60.0点)、登米圏域(60.0点)の2圏域が回答者全体(50.0点)よりも10ポイント、大崎圏域(55.0点)が5ポイント高い。

重視度の四分位偏差は、気仙沼・本吉圏域(15.0点)、大崎圏域(10.0点)、栗原圏域(10.0点)、仙台圏域(9.4点)の4圏域が回答者全体(7.5点)よりも大きく、登米圏域(6.3点)、仙南圏域(5.0点)、石巻圏域(5.0点)の3圏域が小さい。

満足度の四分位偏差は、石巻圏域(11.3点)、仙南圏域(10.0点)、仙台圏域(7.5点)、栗原圏域(7.5点)、登米圏域(6.9点)、気仙沼・本吉圏域(6.3点)、大崎圏域(5.6点)の7圏域が回答者全体(5.0点)よりも大きい。

【一般県民】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	70.0	70.0	70.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0	50.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0	20.0	20.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	55.0	60.0	50.0	55.0	60.0	50.0	50.0	60.0
	満足度	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0	40.0
	かい離	15.0	20.0	10.0	15.0	20.0	10.0	10.0	20.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	75.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
	かい離	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	15.0	20.0
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	12.5	10.0	15.0	12.5	10.0	15.0	12.5	10.0
	満足度	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0

【市町村職員】

中央値、第1四分位、第3四分位、四分位偏差の値

(点)

		回答者 全体	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼 ・本吉
中央値	重視度	65.0	65.0	70.0	70.0	70.0	70.0	60.0	70.0
	満足度	50.0	50.0	50.0	55.0	60.0	60.0	50.0	50.0
	かい離	15.0	15.0	20.0	15.0	10.0	10.0	10.0	20.0
第1四分位数 (25パーセント)	重視度	60.0	56.3	60.0	60.0	60.0	66.3	60.0	50.0
	満足度	50.0	45.0	40.0	50.0	50.0	50.0	37.5	50.0
	かい離	10.0	11.3	20.0	10.0	10.0	16.3	22.5	0.0
第3四分位数 (75パーセント)	重視度	75.0	75.0	70.0	80.0	80.0	78.8	70.0	80.0
	満足度	60.0	60.0	60.0	61.3	65.0	63.8	60.0	62.5
	かい離	15.0	15.0	10.0	18.8	15.0	15.0	10.0	17.5
四分位偏差 (第3四分位数 第1四分位数) / 2	重視度	7.5	9.4	5.0	10.0	10.0	6.3	5.0	15.0
	満足度	5.0	7.5	10.0	5.6	7.5	6.9	11.3	6.3

4. 政策 15 各施策の優先度

各施策の優先度は以下の通りである。

回答者全体での各施策の優先度

一般県民では、

第 1 位は施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」(32.9%) である。

第 2 位は施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」(20.1%) である。

第 3 位は施策 2 「普及を推進する施設の整備」(14.5%) である。

市町村職員では、

第 1 位は施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」(25.5%) である。

第 2 位は施策 6 「産学官連携による技術の普及」(24.2%) である。

第 3 位は施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」(23.3%) である。

学識者では、

第 1 位は施策 6 「産学官連携による技術の普及」(36.9%) である。

第 2 位は施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」(23.1%) である。

第 3 位は施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」(16.9%) である。

性別

一般県民では、

性別毎の各施策の優先度は、男女とも、回答者全体と同じである。

65 歳年齢区分別

一般県民では、

第 1 位は、65 歳未満 65 歳以上とも施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」である。

第 2 位は、65 歳未満では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、65 歳以上では施策 2 「普及を推進する施設の整備」である。

第 3 位は、65 歳未満では施策 2 「普及を推進する施設の整備」、65 歳以上では施策 6 「産学官連携による技術の普及」である。

圏域別

一般県民では、

第 1 位は、全圏域とも施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」である。

第 2 位は、仙台、大崎、栗原、登米、石巻、気仙沼・本吉の 6 圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、仙南圏域では施策 2 「普及を推進する施設の整備」である。

第 3 位は、大崎、栗原、登米、石巻の 4 圏域では施策 2 「普及を推進する施設の整備」、仙台圏域では施策 6 「産学官連携による技術の普及」、仙南圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、気仙沼・本吉圏域では施策 3 「早く確実な技術移転」である。

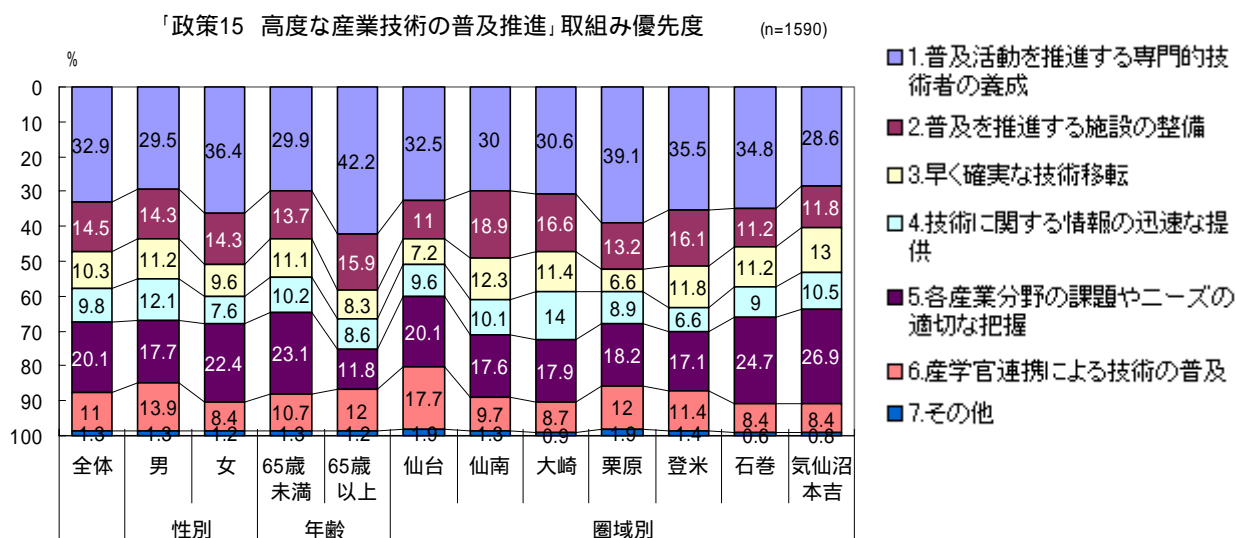
市町村職員では、

第 1 位は、仙南、大崎、登米、石巻の 4 圏域では施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」、仙台、栗原の 2 圏域では施策 6 「産学官連携による技術の普及」、石巻、気仙沼・本吉の 2 圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、登米圏域では施策 3 「早く確実な技術移転」である（登米圏域では施策 1 と施策 3 が、石巻圏域では施策 1 と施策 5 が共に第 1 位になっている）。

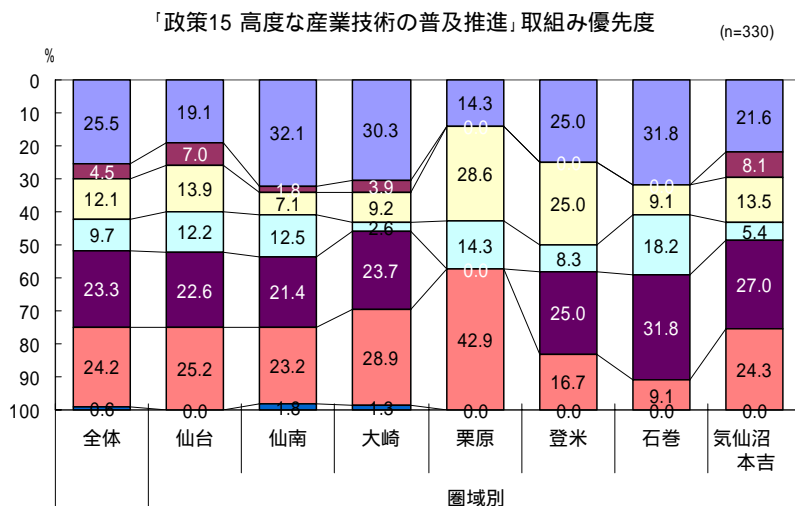
第 2 位は、仙南、大崎、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 6 「産学官連携による技術の普及」、仙台圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、栗原圏域では施策 3 「早く確実な技術移転」である。

第 3 位は、仙南、大崎、登米の 3 圏域では施策 5 「各産業分野の課題やニーズの適切な把握」、仙台、栗原、気仙沼・本吉の 3 圏域では施策 1 「普及活動を推進する専門的技術者の養成」、栗原、石巻の 2 圏域では施策 4 「技術に関する情報の迅速な提供」である（栗原圏域では施策 1 と施策 4 が共に第 3 位になっている）。

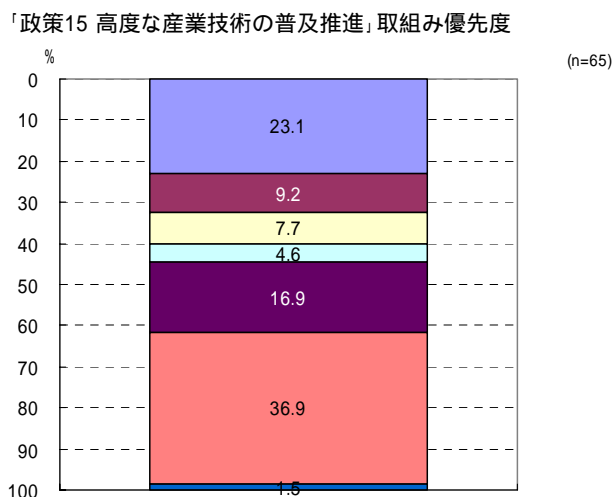
【一般県民】



【市町村職員】



【学識者等】



政策 15 「高度な産業技術の普及推進」

【一般県民】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	性別		年齢		圏域別						
			男	女	65歳未満	65歳以上	仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.普及活動を推進する専門的技術者の養成	32.9	29.5	36.4	29.9	42.2	32.5	30.0	30.6	39.1	35.5	34.8	28.6
2	2.普及を推進する施設の整備	14.5	14.3	14.3	13.7	15.9	11.0	18.9	16.6	13.2	16.1	11.2	11.8
3	3.早く確実な技術移転	10.3	11.2	9.6	11.1	8.3	7.2	12.3	11.4	6.6	11.8	11.2	13.0
4	4.技術に関する情報の迅速な提供	9.8	12.1	7.6	10.2	8.6	9.6	10.1	14.0	8.9	6.6	9.0	10.5
5	5.各産業分野の課題やニーズの適切な把握	20.1	17.7	22.4	23.1	11.8	20.1	17.6	17.9	18.2	17.1	24.7	26.9
6	6.産学官連携による技術の普及	11.0	13.9	8.4	10.7	12.0	17.7	9.7	8.7	12.0	11.4	8.4	8.4
7	7.その他	1.3	1.3	1.2	1.3	1.2	1.9	1.3	0.9	1.9	1.4	0.6	0.8

【市町村職員】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体	圏域別						
			仙台	仙南	大崎	栗原	登米	石巻	気仙沼・本吉
1	1.普及活動を推進する専門的技術者の養成	25.5	19.1	32.1	30.3	14.3	25.0	31.8	21.6
2	2.普及を推進する施設の整備	4.5	7.0	1.8	3.9	0.0	0.0	0.0	8.1
3	3.早く確実な技術移転	12.1	13.9	7.1	9.2	28.6	25.0	9.1	13.5
4	4.技術に関する情報の迅速な提供	9.7	12.2	12.5	2.6	14.3	8.3	18.2	5.4
5	5.各産業分野の課題やニーズの適切な把握	23.3	22.6	21.4	23.7	0.0	25.0	31.8	27.0
6	6.産学官連携による技術の普及	24.2	25.2	23.2	28.9	42.9	16.7	9.1	24.3
7	7.その他	0.6	0.0	1.8	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0

【学識者等】

(%)

施策番号	取組(施策)名	全体
1	1.普及活動を推進する専門的技術者の養成	23.1
2	2.普及を推進する施設の整備	9.2
3	3.早く確実な技術移転	7.7
4	4.技術に関する情報の迅速な提供	4.6
5	5.各産業分野の課題やニーズの適切な把握	16.9
6	6.産学官連携による技術の普及	36.9
7	7.その他	1.5

